

# 土佐派絵画資料目録(九)

## 画帖(三)

凡例

1. 本目録は本館所蔵の「土佐派絵画資料」(収蔵番号…三〇〇一)のうち粉本の一部を収録するものである。収録の対象としたのは画帖の一部であり、源氏物語絵もしくは器物写生を対象とした近世初期の粉本集を含む三点を選んだ。昭和28年に作成された「土佐家粉本目録」(旧目録)の整理番号を本目録にも示した。
2. 目録は解説、目録本編、索引から構成されており、収録資料には全て通番を打ち、目録番号を与えた。
3. 目録本編は図版とデータを併せて収録し、データ記載は目録番号、品名、員数、旧目録番号を示した後、材質技法、法量(縦×横、単位はセンチメートル)、年紀、作者、備考の順に配列した。データのない項目は省略している。ただし、「1源氏物語画帖」「3道具画帖」については以下のように記載している。
  - (a)両者とも画帖を解体し、右綴じに置いた状態で、上の台紙から下の台紙に向かって台紙番号を与え、貼り込まれた紙片に対しては、画帖形式時の旧頁数と頁内での粉本の通番号を組み合わせた紙片番号を与えている。台紙番号は2桁の番号と表裏の組み合わせで表示し、紙片番号は2桁の旧頁番号と1桁の通番号で表示した。通番号末尾が「0」のものは、台紙そのものを示している。
  - (b)各台紙面ごとに紙片の貼り込み状況を示す略図を付し、台紙への図・墨書と、貼り込まれた紙片の番号を確認できるようにした。
  - (c)画帖を構成する各台紙面ごとに、台紙番号、法量(台紙の縦×横、単位はセンチメートル)、備考(台紙全体に関するもの)を示す。旧頁ごとに、旧頁番号、備考(旧頁内に関わるもの)を示した後、貼り込まれた各紙片の、紙片番号、材質、年紀、作者、墨書、備考(各紙片のみに関わるもの)、印章を示している。データのない項目は省略している。
4. 墨書の表記について、△不読▽はかすれもしくは紙片などによる隠蔽で判読できなかったもの、△欠▽は欠失して読めないもの、△切▽は紙の切断による字句の断絶箇所、△消▽は直前の字句がシミケシされたもの、□は判読できなかったもの、■は字の有無が判断できないつづれを示している。これ以外に墨書中に△▽によって示した文字は、直前の語句の右もしくは左に傍注されたものである。
5. 索引については、墨書と印章の内容と判明する限りの画題を取り上げた。各見出し語には項目に応じて分類記号を付け利用の便を図った。△人▽は人名を、△地▽は地名を、△歌▽は和歌を、△職▽は職名を、△調▽は調度を示している。索引に示す数字は、資料番号―台紙数(オは表、ウは裏を指す)を基本としているが、「1源氏物語画帖」「3道具画帖」については、これに加えて○中に紙片番号を示した。
6. 資料の配列は利用の便を考慮しているが、特に一貫した方針を持つものではない。
7. 本目録に収録した資料は、撮影(白黒)、補修とも全て終了している。
8. 目録の編集は次の者が担当した。

榎原吉郎(本学名誉教授)

大須賀潔(本館学芸員)

松尾芳樹(本館学芸員)

目次

任天堂所蔵・源氏物語画帖について……………榊原吉郎 4

画帖(三) 目録……………10

1 源氏物語画帖 一帖(三十一紙) (三九七―一)

2 源氏物語若紫図 一枚 (三九七―二)

3 道具画帖 一帖(二十四紙) (三九八)

土佐派絵画資料「源氏物語画帖」について……………松尾芳樹 64

索引……………81